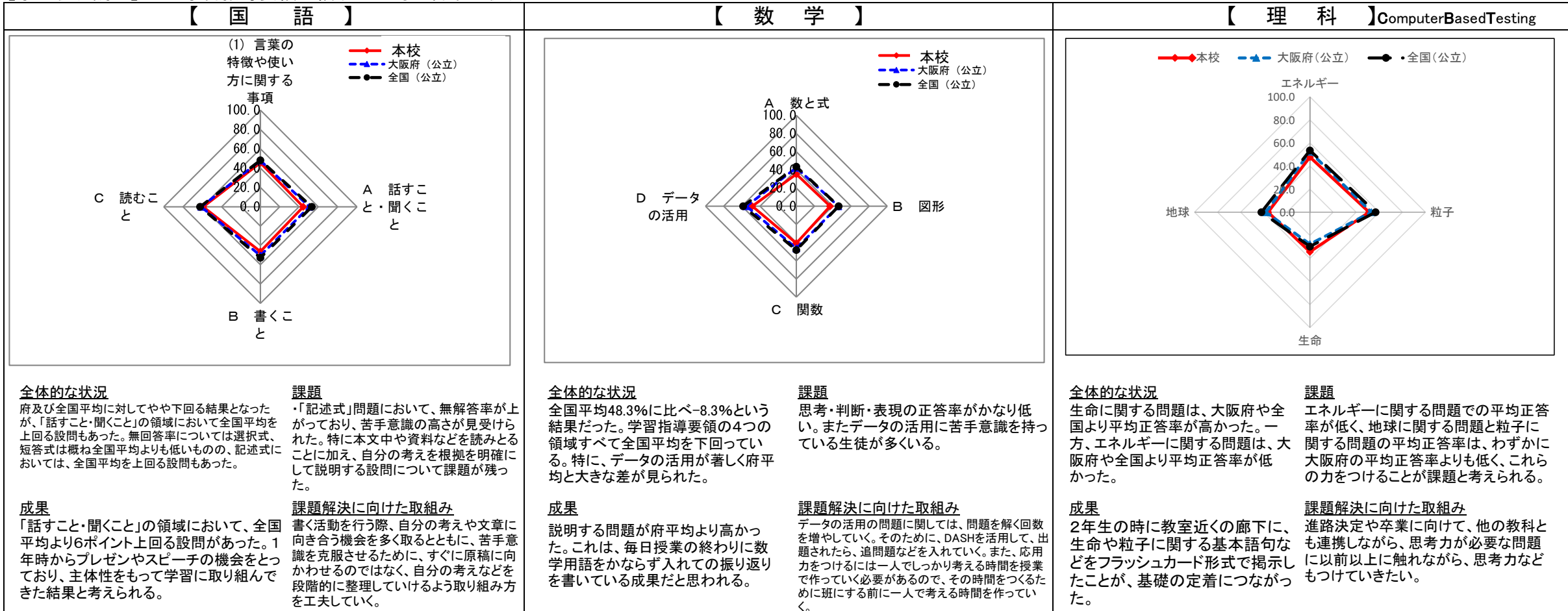


調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していましたか	76	64	63	読書は好きですか	45	58	62
学校へ行くのは楽しいと思えますか	94	84	86	自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	69	78	78
自分には、よいところがあると思えますか	94	84	86	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思えますか	67	72	75

**全体的な状況**  
・様々な項目において、府や全国平均を上回る結果が出ております。上記のほかにも「自分には、よいところがあると思えますか」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思えますか」の項目も全国平均+6ポイント以上上回っています。

**成果**  
・1年生のときより、協働的・探求的な学習や教え合い活動などに力を入れてきました。そのため、上記にあるように「自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表していましたか」や「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」のアンケート項目の結果から、成果を読み取ることができました。また、自尊心を育むため、様々な取り組みの最後には「良いところ探し」を行ったり、学年通信・学級通信で生徒の良いところを発信することで「学校が楽しい」「自分に良いところがある」という項目のアンケート結果につながったと感じています。

**課題**  
・読書は好きと感じている生徒が府・全国平均と比べて大きく下回った。上記の他にも「将来の夢や目標を持っていますか」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目は全国平均より-4ポイント下回っていました。

**課題解決に向けた取組み**  
・「カテガクノート」「朝読書」の継続に、より力を入れていきます。  
・引き続き進路学習を通じて、自分の進路や将来について考える時間を設けていきます。  
・日々の声かけや、カウンセリングの期間を利用して、生徒1人1人との話を聞く時間を充実させます。  
・総合や道徳の時間を活用し、地域や社会とのつながりを大切にできる学習内容も取り入れていきます。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

ご家庭の生活に関するアンケート項目の「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」と「朝食を毎日食べていますか」とか、ともに全国平均+3ポイントと上回っていました。生徒たちが普段の学校生活を元気に過ごすことができているのも、ご家庭での確立された基本的な生活習慣の賜物だと考えます。その土台があって「学校へ行くのは楽しい」「自分には良いところがある」と生徒が感じながら学校生活を過ごしてくれていることを、学校としても大変うれしく思っています。また、これまでの「SCF」「わくドキ」授業内での表現活動をとおして、これから社会で必要とされる課題解決能力と探求力・表現力を育み、生徒自身が成長を実感できる取り組みになったことが一番の成果であると感じています。一方、学習面では、「振り返る力」に課題があり、テストでこの問題ができていなかった、次に同じような問題を解くためにはこうして勉強してみよう、そして、同じ問題が解けるようになるといったサイクルを踏むことが必要であり、「振り返る力」の定着が「学び方の確立」と主体的に学習に取り組む態度につながり、成果になると考えます。今後も主体的に学習に取り組む態度を育むため、授業改善に活かしてまいります。